

『リグ・ヴェーダ』からの詩節

उदु त्यं जातवेदसं देवं वहन्ति केतवः ।
दृशे विश्वायु सूर्यम् ॥

*ud u tyam jātavedasaṁ devaṁ vahanti ketavaḥ |
dṛśe viśvāya sūryam ||*

その輝く光線が今、
生きとし生けるものを知る神の存在を告げる。
皆が大いなる太陽を見ることができると。

तरणिर्विश्वदर्शतो ज्योतिष्कृदसि सूर्य ।
विश्वमा भांसि रोचनम् ॥

*taraṇir viśvadarśato jyotiṣkṛd asi sūrya |
viśvam ā bhāsi rocanam ||*

敏速で美しい太陽よ、
光の創造者よ、
輝く空のすべてを照らすあなたよ。

उद्वयं तमसुस्परि ज्योतिष्पश्यन्त उत्तरम् ।
देवं देवत्रा सूर्यमगन्म ज्योतिरुत्तमम् ॥

*ud vyaṁ tamasaḥ pari jyotiṣ paśyanta uttaram |
devaṁ devatrā sūryam aganma jyotir uttamam ||*

暗闇の向こうを見詰めて、
私たちは至高なる光に至り、太陽、
神々の中の神、大いなる光を達成する。

太陽の神であるスーリヤ神を崇拝するこの詩節の抜粋は、ヴェーダとして知られる古代インドの四つの神聖な教典の中で最も古く、最も長い、『リグ・ヴェーダ』の賛歌からのものです。『リグ・ヴェーダ』には、リクとして知られる1万節以上の詩節が収められています。それらは、アグニ(火)、ヴァーク(空気)、プリティヴィー(地)、ヴァルナ(水)、そしてルドラ、インドラ、ヴィシュヌといった神々の姿を取る神聖なる者を賛美し、祈願して復唱するためのものです。



© 2023 SYDA Foundation®. 著作権所有。